

tric acid secretion in the rat in relation to its antiulcer activity, Fourth International Conference for Experimental Ulcer, 1980. 10, Tokyo.

10) Watanabe K., Watanabe H., Goto Y. and Hara N.: Continuous measurement of gastric bleeding in the rat loaded with the restraint and water-immersion stress: A new method for the assay of drug action on gastric mucosal defensive mechanisms. Fourth International Conference for Experimental Ulcer, 1980. 10, Tokyo.

11) 渡辺和夫, 原 信行: 胃出血連続測定による胃粘膜防禦機構の研究—諸種薬物の作用および副腎摘除の影響, 日本薬学会北陸支部第51回例会, 1980. 11, 金沢.

12) 後藤義明, 渡辺和夫: セロトニン潰瘍の発生機序に関する研究: 抗潰瘍薬の効果並びに胃血流の変化, 第8回実験潰瘍懇話会, 1980. 12, 広島.

13) 萩原昌樹, 渡辺和夫: 抗セロトニン薬によるインドメサシン潰瘍の幽門前庭部損傷増悪と胃酸分泌亢進, 第8回実験潰瘍懇話会, 1980. 12, 広島.

臨 床 利 用

教 授	大 浦 彦 吉
助 教 授	日 合 奨
助 手	横 澤 隆 子
助 手	長 澤 哲 郎

◆ 原 著

1) 横澤隆子, 長澤哲郎, 大浦彦吉, 中川 眸, 米原久美子: 血清総たん白, アルブミンレベルに及ぼす摂取たん白質の影響について, 栄養と食糧 33(1): 9-14, 1980.

2) 横澤隆子, 北原浪子, 大浦彦吉: ピルビン酸キナーゼ活性に対する食餌環境の影響について, 日本農芸化学会誌 54(3): 181-185, 1980.

3) 渋谷眞也, 長澤哲郎, 横澤隆子, 大浦彦吉: 大黃の尿素窒素代謝ならびにアミノ酸代謝に及ぼす影響, 薬学雑誌 100(4): 434-442, 1980.

4) Nagasawa T., Shibutani S., Oura H., Shoyama Y., and Nishioka I.: Effect of Extract from Rhei Rhizoma on Urea-nitrogen Concentration in Rat Serum, Chem. Pharm. Bull. 28(6): 1736-1739, 1980.

5) Nagasawa T., Yokozawa T., Nishino Y., and Oura H.: Application of High-performance Liquid Chromatography to the Isolation of

Ginsenoside-Rb₁, -Rb₂, -Rc, -Rd, -Re, and -Rg₁ from Ginseng Saponins, Chem. Pharm. Bull. 28(7): 2059-2064, 1980.

6) 長澤哲郎, 横澤隆子, 西野由絵, 大浦彦吉: 高速液体クロマトグラフィーによる薬用人参サポニンの大量迅速分離法について, Proc. Sympo. WAKAN-YAKU 13: 9-15, 1980.

7) Kida K., Nishino T., Yokozawa T., Nagai K., Matsuda H., and Nakagawa H.: The Circadian Change of Gluconeogenesis in the Liver *In Vivo* in Fed Rats, J. Biochem. 88(4): 1009-1013, 1980.

8) Nagasawa T., Choi J. H., Nishino Y., and Oura H.: Application of High-performance Liquid Chromatography to the Isolation of Ginsenoside-Rf, -Rg₂, and -Rh₁ from a Crude Saponin Mixture of Ginseng, Chem. Pharm. Bull. 28(12): 3701-3707, 1980.

◆ その他

1) 日合 奨: 人参サポニンと下垂体副腎皮質系, 現代東洋医学 1(2): 80-81, 1980.

◆ 学会報告

1) 大浦彦吉: 東洋薬物, その生理活性について—薬用人参サポニンの各種代謝作用—, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

2) 横山弘臣, 日合 奨, 大浦彦吉, 林 輝明: 数種生薬の総サポニンのラット血漿コルチコステロン値に及ぼす作用, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

3) 日合 奨, 横山弘臣, 大浦彦吉: サイコサポニンの下垂体副腎皮質系への作用, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

4) 渋谷眞也, 長澤哲郎, 大浦彦吉, 野中源一郎, 西岡五夫: 和漢薬のBUN低下作用成分の研究(その2)芍薬からの活性成分の検索, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

5) 長澤哲郎, 西野由絵, 崔 鎮浩, 大浦彦吉: 薬用人参サポニンの高速液体クロマトグラフィーによる分離, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

6) 横澤隆子, 大浦彦吉, 中川 眸: 尿酸レベルに対する食餌性プリンの影響について, 日本栄養食糧学会総会, 1980. 8, 札幌.

7) 大浦彦吉, 長澤哲郎, 渋谷眞也, 横澤隆子, 西岡五夫, 野中源一郎: 和漢薬と窒素代謝, 第14回和漢薬シンポジウム, 1980. 8, 富山.

8) 日合 奨, 横山弘臣, 大浦彦吉: サイコサポニンの副腎皮質ホルモン分泌への作用, 第14回和漢

葉シンポジウム, 1980. 8, 富山.

9) Hiai S. and Oura H.: Stimulation of Pituitary-adrenocortical System by Ginseng Saponin, The 3rd Intern. Ginseng Symposium, 1980. 9, Seoul.

10) Nagasawa T., Oura H., Choi J. H., and Bae H. W.: Application of High-performance Liquid Chromatography to the Isolation of Ginsenosides from Ginseng Saponins, The 3rd Intern. Ginseng Symposium, 1980. 9, Seoul.

11) 西澤 信, 山岸 喬, 野中源一郎, 西岡五夫, 長澤哲郎, 大浦彦吉: 生薬中のガロタンニン—構造と分布と活性—, 第23回天然有機化合物討論会, 1980. 10, 名古屋.

病 態 生 化 学

教 授 荻 田 善 一
助 教 授 中 島 松 一
助 手 山 村 研 一
文 部 技 官 林 和 子

◆ 著 書

1) 荻田善一: 人類遺伝学の新しい展開「遺伝学」80(5): 103-106, モダンメディシン, 1980.

2) 荻田善一: 遺伝医学 期待される体細胞遺伝学 80(6): 79-84, モダンメディシン, 1980.

3) 荻田善一: 遺伝と代謝異常, 分子病 I, 7-28, 永井書店, 1980.

4) 荻田善一: 臨床検査値の個体差をどう考えるか 24(13), 1646-1655, 医学書院.

◆ 原 著

1) 荻田善一, 林 眞一, 林 和子: 毛根を試料とする GM₂-ガングリオシドーシス診断法の確立, 日本臨床代謝学会誌, 200-201, 1980.

2) 荻田善一, 磯部正治, 岩橋寛治, 片山和信, 有馬正高, 河野恭義: 毛根を試料とする痛風体質診断法の確立, 日本臨床代謝学会誌, 202-203, 1980.

3) 長田尚夫, 井上武夫, 平野昭彦, 田中一成, 荻田善一, 磯部正治, 林 眞一: Adenine phosphoribosyltransferase 完全欠損による 2, 8-dihydroxyadenine 結石症例, 臨床泌尿器科 34(10): 981-984, 1980.

4) 荻田善一, 金 溶奎, 岩橋寛治, 安光英太郎: 電気泳動法によるジャコウの男性ホルモン様作用の解析, 生物物理化学 24(1): 20, 1980.

5) 荻田善一, 宇田川千恵子: LDHサブバンド

の後成的修飾機構の電気泳動法的解析, 生物物理化学 24(1): 50, 1980.

6) 片山和信, 荻田善一: Across 電気泳動法による泳動条件の決定法, 生物物理化学 24(1): 96, 1980.

7) 荻田善一, 林 眞一, 林 和子: N-acetyl-β-hexosaminidase isozyme の遺伝生化学的研究, 日本人類遺伝学雑誌 25: 146, 1980.

8) 荻田善一, 磯部正治, 林 眞一, 岩橋寛治: 痛風体質の生化学的異質性の解明, 日本人類遺伝学雑誌 25: 147, 1980.

9) 荻田善一, 宇田川千恵子, 窪田博道, 窪田裕子, 片山和信, 岡田正俊, 広瀬三智子: Mixed gonadotropin dysgenesis の疑われる 1 症例, 日本人類遺伝学雑誌 25: 174-175, 1980.

10) 中島松一, 金田 平, 高津聖志: 梅寄性・柴胡抽出物のマウス IgE 抗体産生抑制効果, Proc. Symp. WAKAN-YAKU 13: 43, 1980.

◆ 翻 訳

1) Susumu Ohno 著: 赤塚 章, 荻田善一訳, 哺乳動物遺伝子の介在配列の起源とその介在配列除去の普遍的シグナル, 81-107, 遺伝と医学II, 共立出版, 1980.

◆ 学 会 報 告

1) 荻田善一, 林 眞一, 林 和子: 毛根を試料とする GM₂-ガングリオシドーシス診断法の確立, 日本臨床代謝学会, 1980. 1, 大阪.

2) 荻田善一, 磯部正治, 岩橋寛治, 片山和信, 有馬正高, 河野恭義: 毛根を試料とする痛風体質診断法の確立, 日本臨床代謝学会, 1980. 1, 大阪.

3) 荻田善一, 磯部正治: 柴胡成分のプロテアーゼ活性化機構に及ぼす影響について, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

4) 金 溶奎, 荻田善一: ジャコウによって誘導されるマウス腎エステラーゼ, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

5) I. J. Fox, M. S. Sy S. Nakashima B. Benacerraf M. I.: Greene Impairment of antigen presenting cell function by ultraviolet radiation FASEB, 1980. 4, Anaheim.

6) 山崎弘美, 中西穎央, 荻田善一: アルデヒド脱水素酵素のアガロースゲル薄層電気泳動法による解析 電気泳動学会, 1980. 6, 東京.

7) 片山和信, 荻田善一: テトラゾリウムによる脱水素酵素染色法阻害因子の電気泳動法解析, 電気泳動学会, 1980. 6, 東京.

8) 荻田善一, 磯部正治, 林 眞一, 長田尚夫: